



自爆を強要されているように感じるのですが・・・

ある社員が感じた事です。

「最近毎日のように班ミーティングの際にやたらカレーを売れ、って言われます。なかには、班ごとに何個売ったか、何人売ったかを表で示してプレッシャーをかけてくる部もあります。なんでも、東海地方で売れ行きが良かったとかで、こちらでも頑張って販売しよう、ということのようです。（東海地方の自爆率を示して欲しいものです。）でも、何か違和感感じませんか？何でそんなにもカレーを売らせようとするのか？裏に何かあるんじゃないか、と勘繰ってしまうのは私だけでしょうか？それはともかく、毎日毎日言われていたら出さなければマズいんじゃないか、と感じる人が出てきても不思議じゃありません。自爆営業=不適正営業です。自爆を誘発するような施策はやめてもらいたいものですが、皆さんどう思われます？」

自爆をほのめかす発言や指示等はコンプライアンス違反に抵触する可能性があります。こういった事がエスカレートして、尊い命が失われた自死事件は過去の話でしょうか？またお立ち台を復活させようとしているのでしょうか？自死事件は加害者である管理者が後に「俺は人を一人殺している」等と言っていたそうですが、これがこの会社の体質でしょうか？

報告してくれた社員は、班ミーティングで管理者等に「（こういう施策を続けていたら）自爆する人が出てくる」等と意見を申し出たとの事。その後、役職者が「みんなで頑張っていこうという方針だが、言い方が強いんじゃないのか？」等と責めてきたそうです。上記の自死事件は、営業強要からパワハラに発展していった結果と記憶していますが、放っておいたら同様の事が起きるのではと危惧します。

更に「ふるさと会」等においても「〇月〇日までにどのくらい出そうか班員にヒアリングしてくれ」等と指示が出ています。個人指標の復活でしょうか？一方、超勤抑制は昨年度に続き「2時間以上はするな」等の強い指示が出ています。10数年前の、多くの社員が退職した頃に戻りつつあるように感じます。

営業の時間などありますか！？

「今日の超勤は翌日準備含め1時間半以内で。ただし、営業活動で時間が必要な社員は申し出てくれ」等の指示も出ています。現場からは「この要員不足の中、超勤1時間半では事故処理もできないし道順も翌日午前分すらできない」といった嘆きの声も聞かれます。そもそも、深夜までタダ働きをしている状況で営業時間などあるはずないでしょ！？営業時間確保の為に会社に泊まり込む社員も出てきそうです。

そんな中でも管理者は「金曜日は翌日準備しなくていいから早く退勤できるだろう」前日に準備を止めさせて早く退勤させ道順が半分以上残っているのをすっかりお忘れのようで、タダ働きを頼りにしているとさえ感じます。指定日を一か月以上過ぎてても未だに春闘要求の回答を返さないこの会社らしいな、と納得できます。

職場のあれこれ、記事募集中！ ご意見等下記メルアドへ

〔連絡先〕 Eメール : postunion_okayama@yahoo.co.jp

支部メルアドQRコード

